

カンチガイ Case1 | 学べるのは「米」や「野菜」の育て方でしょ？



文系の受験生に注目してほしいのが、国際食料情報学部や生物産業学部です。国際食料情報学部の「食料環境経済学科」では、フードシステムや消費行動を学び、より良い社会の実現に“食”の視点から取り組みます。「国際農業開発学科」では、農業を通じて開発途上国の発展に貢献するスキルを身につけます。そのほか、経営や会計の視点から食ビジネスについて学べる「アグリビジネス学科」や、文系出身者でも栄養学や食品機能学などを学んでフードスペシャリストをめざせる「国際食農科学科」があります。さらに生物産業学部では、北海道の大自然を活かして地域ビジネスを創り出す「自然資源経営学科」まであります。

カンチガイ Case2 | 「時代遅れの産業」に興味はありません。



たとえば SDGs の達成に向けた取り組みは、あらゆる産業や企業にとって存続に欠かせないものとなっています。これからのビジネスに求められているサステナブルな視点を、食料・経済・環境・エネルギーなどの諸問題とともに学ぶことも国際食料情報学部の大きな魅力。新しい時代を創る学問といえます。

カンチガイ Case3 | 就職先は「農村」の近くですよね？



食品メーカーをはじめ、都市部に主要な拠点がある大手企業にも多くの学生を送り出している東京農大。生物産業学部（オホーツクキャンパス）の学生も約 85%が北海道以外の企業に就職しています。その業界は多岐にわたり、意外にも農業関連企業・団体に就職するのは全体の 5%未満とのこと。こうした実績は、企業側の農大生に対する期待の表れといえるでしょう。サステイナブルな視点を持ち、経済や資源などの諸問題を解決できる人材がビジネスに求められているからです。

カンチガイ Case4 | 入試科目は「理系科目」だけですか？



得意な2科目で受験できる2科目型（大学入学共通テスト利用選抜）もあります。カンチガイがないように大学ホームページや募集要項で詳細を確認してみましょう。

カンチガイ Case5 | 「農学部」だけの単科大学ですよ？

違います！ 学問分野は「6学部23学科」に広がっています。

厚木キャンパス	農学部	農学科	世田谷キャンパス	地域環境科学部	森林総合科学科
		動物科学科			生産環境工学科
		生物資源開発学科			造園科学科
		デザイン農学科			地域創成科学科
世田谷キャンパス	応用生物科学部	農芸化学科	国際食料情報学部	国際農業開発学科	
		醸造科学科		食料環境経済学科	
		食品安全健康学科		アグリビジネス学科	
		栄養科学科		国際食農科学科	
	生命科学部	バイオサイエンス学科	北海道オホーツクキャンパス	生物産業学部	北方圏農学科
		分子生命化学科			海洋水産学科
		分子微生物学科			食香粧化学科
		自然資源経営学科			

学部・学科のほか、147 の研究室でも日々あらゆる難問の課題解決に挑んでいる東京農大。その領域は、農業はもとより生命や環境といった自然科学だけでなく、食料経済、経営、国際協力、地域創成をはじめとする社会科学分野にまで広がっています。カンチガイがないように、あなたが関心のある学びや将来についても、大学ホームページやオープンキャンパスで確かめてみましょう。